

整形外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開し患者さんが拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 母指 CM 関節症に対する関節形成術の臨床成績

[研究機関] 北海道大学病院整形外科

[研究機関の長] 北海道大学病院長 寶金 清博

[研究責任者] 岩崎 倫政 （北海道大学医学研究科整形外科学分野・教授）

[研究の目的]

母指手根中手（CM）関節症は、加齢による組織変性や軟骨の摩耗、または外傷などにより母指 CM 関節部（手の親指の付け根の関節）の動作時に痛みを生じたり、物をしっかり持つことが困難になる疾患です。投薬や装具などによる保存治療で改善がみられない場合には、手術治療が選択されます。手術治療には関節固定術や関節形成術など様々な方法の報告がありますが、当科では母指 CM 関節症の患者さんの中で、可動域の温存を希望される方や隣接関節の関節症性変化が既に認められる方などに対し関節形成術を施行しています。本研究の目的は、母指 CM 関節症に対して関節形成術を施行した患者さんの臨床成績を検討することです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

母指CM関節症の患者さんで、平成20年12月から平成25年4月の間に関節形成術を受けた方。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見（母指 CM 関節の疼痛、握力、関節可動域など）、術前・術後の日常生活での支障の程度、治療後の満足度、合併症、画像診断結果

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検査結果を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院整形外科 担当医師 河村 太介

電話 011-706-5937 FAX 011-706-6054